

みどり豊かな美しいまち

みどり豊かな美しい本市の景観は、自然と暮らしが織りなす「けしき」として先人たちから受け継がれてきました。その“歴史”を大切にし、“未来”へつなぐため、“いま”の取り組みを紹介します。

問い合わせ まちづくり課 ☎38-2109



まちづくりに関する対談

芦屋市都市景観賞を受賞した芦屋レストランテベリーニの小野さんと、芦屋の景観行政に長く携わってこられた奈良文化財研究所 文化遺産部 景観研究室 客員研究員の小浦 久子先生と、芦屋のまちづくりについての対談を行いました。



芦屋 レストランテベリーニにて



高島市長

美しい景観を次世代へつなげていきたい

広い空と豊かな緑、美しい景観。芦屋市には、ゆったりとした時間が流れています。その静穏な雰囲気は単なる規制の結果ではありません。市民一人一人が誇りをもってともに創り上げてきた成果です。
幼い頃原風景は、一生残ります。子どもたちが街を歩きながら芦屋の良さを肌で感じ、景観の魅力を発見・共有することで、その思いを次の世代へとつなげていきたいと考えています。

緑の大切さを改めて考えてほしい

芦屋に入ると、空気が変わったように感じるのは、豊かな緑が大きな魅力だからです。山の緑を背景に、住宅地にも多くの緑が溢れています。震災前は、芦屋の暮らし方や景観に自然と良さが受け継がれていましたが、震災以降、大きな邸宅の分割や緑の少ない住宅が増えてきました。新たに芦屋に住む人々が増える中で、緑の大切さを守る人が少なくなっているのが現実です。芦屋の暮らしや景観への誇りを感じてもらい、魅力的なこのまちを未来へとつなげていくことが大切だと考えます。



小浦 久子先生

落ち着いたまちなみは芦屋の魅力

私は就職をきっかけに35年前に芦屋に住み始めました。住みやすく自然が豊かなこのまちが気に入っています。近くの山を歩いたり、緑を眺めながら家でゆったりと過ごす時間や、公園で遊びに来る人々を眺めることが、心地よいひとときです。お店がある芦屋川沿いの場所は特に魅力的だと感じていて、オーナーが変わっても時代が変わっても落ち着いた店構えを維持し、変えないことを大切にしています。



芦屋 レストランテベリーニ 小野さん

芦屋市における まちづくり施策のあゆみ

